

## 令和2年度 教育委員会 第11回定例会 議案

1 日 時 令和2年10月21日（水） 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 報告事項

(2) 議 案

<非>第29号議案 第37期静岡県社会教育委員の委嘱 …非

<非>第30号議案 令和3年度教職員人事異動方針 …非

<非>第31号議案 令和2年度静岡県教育委員会表彰被表彰者の決定 …非

(4) 閉 会

第11回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
配布 報告	小中学校事務職員キャリアプラン（別添資料有）	1
1	<非>文部科学省「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」静岡県公立学校の状況	非

小中学校事務職員キャリアプラン

(義務教育課)

1 概 要

10 月 7 日に行われた教育委員協議会における意見を受け、小中学校事務職員キャリアプランを次のとおり修正する。

2 修正点

- ・ 小中学校事務職員が広く教育全体を支援していく点を明確に表現するため、「教育支援」に関する記述を追加
- ・ これまで教員が行っていた業務を分担の見直しにより事務職員が担当することとなる業務の支援については、「教員支援」から「教員業務の支援」に表現を修正

	内 容
修正前	<p><u>校長を学校運営の面から補佐し、学校の教育力・組織力の向上に更なる大きな貢献を果たすという小中学校事務職員に期待されている役割を踏まえ、今後の職務領域内における業務比率の変化について、大まかに分類すると以下のとおりとなる。</u></p> <p>「学校経営」「教員支援」については、(中略) 今後、各学校現場で実践を積み重ね、優れた取組を横展開していく必要がある。(中略)</p> <p>また、今後、「学校経営」や「<u>教員支援</u>」の業務比率を拡大していくためには、業務の共同化や電算化などによって業務プロセスの効率化に取り組む必要がある。</p>
修正後	<p><u>今後、小中学校事務職員に対しては、学校運営を補佐し、学校の教育力・組織力の向上に貢献を果たすといった「教育支援」の役割を果たしていくことがこれまで以上に求められる。それを踏まえて、将来的な職務領域内における業務比率の変化を大まかに分類すると以下のとおりとなる。</u></p> <p>「学校経営」「<u>教員業務の支援</u>」については、(中略) 今後、各学校現場で実践を積み重ね、優れた取組を横展開していく必要がある。(中略)</p> <p>また、今後、「学校経営」や「<u>教員業務の支援</u>」の業務比率を拡大していくためには、業務の共同化や電算化などによって業務プロセスの効率化に取り組む必要がある。</p>